

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら総合発達支援センター ホープ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 31日		～ 令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 6日		～ 令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○保護者の方との連携が取れている。	○連絡帳を使い、小さな疑問などにも丁寧に答えるようにしている。	○職員1人1人が保護者と信頼関係を作れるよう、面談等の機会を設けられるよう考えていく。
2	○生活空間が清潔である。	○整理整頓を日ごろから心掛け、声をかけ合っている。	○季節に合わせた消毒や掃除などにも工夫していく。
3	○児童発達支援に沿った支援が行われている。	○職員同士情報の共有をきちんとしている。 ○計画を立てる上でその時の子どもの様子を観察している。	○個別支援計画に関しても、立て方、工夫等の研修を受ける。 ○職員の気づきをすぐに共有してもらえ環境を整備する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域との交流が少ない	○なかなか地域の幼稚園、保育園への打診をすることが出来ない	○保育所等でうかがっている幼稚園、保育園に打診していく ○他の事業所との連携も取っていく
2	○保護者会等の開催がされていない	○日中の時間になかなか時間を取ることが出来ない	○業務の効率化を図り、時間を作る
3			